

マンテンホテル宿泊約款

適用範囲	第1条	1. 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令等（法令又は法令に基づくものをいう。以下同じ。）又は一般的に確立された慣習によるものとします。 2. 当ホテルが、法令等及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。
宿泊契約の申込み	第2条	1. 当ホテルに宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。 （1）宿泊者名 （2）宿泊日及び到着予定時刻 （3）宿泊料金 （4）その他ホテルが必要と認める事項 2. 宿泊客が宿泊中に前項第2号の宿泊日を越えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。
宿泊契約の成立等	第3条	1. 宿泊契約は、当ホテルが前条の申込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾しなかったことを証明したときは、この限りではありません。 2. 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間の基本宿泊料を限度とし、当ホテルが定める予約金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。 3. 予約金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、残額があれば宿泊客が立出の際に返還します。 4. 第2項の予約金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、予約金の支払い期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。
予約金の支払いを要しないこととする特約	第4条	前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後、同項の予約金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
施設における感染防止対策への協力の求め	第4条の2	当ホテルは、宿泊しようとする者に対し、旅館業法（昭和23年法律第138号）第4条の2第1項の規定による協力を求めることができます。
宿泊契約締結の拒否	第5条	当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約の締結に応じないことがあります。 ただし、本項は、当ホテルが、旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。 （1）宿泊の申込みが、この約款によらないとき。 （2）満室（員）により客室の余裕がないとき。 （3）宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは、善良の風俗に反する行為をする恐れがあると認められるとき。 （4）宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められるとき。 イ、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成30年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団（以下「暴力団」という）、同条第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という）、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力 ロ、暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき ハ、法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの （5）宿泊しようとする者が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。 （6）宿泊しようとする者が、旅館業法第4条の2第1項第2号に規定する特定感染症の患者等（以下「特定感染症の患者等」という。）であるとき。 （7）宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき（宿泊しようとする者が障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成25年法律第65号。以下「障害者差別解消法」という）第7条第2項又は第8条第2項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く）。 （8）宿泊しようとする者が、当ホテルに対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき。 （9）天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
	第5条の2	宿泊しようとする者は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約の締結に応じない場合、その理由の説明を求めることができます。
宿泊客の契約解除権	第6条	1. 宿泊客は、当ホテルに申し出て宿泊契約を解除することができます。 2. 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合（第3条第2項の規定により当ホテルが予約金の支払い期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます）は、別表に掲げるところにより、違約金を申し受けま。ただし、当ホテルが第4条の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。 3. 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後10時（あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。
当ホテルの契約解除権	第7条	1. 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。 ただし、本項は、当ホテルが、旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。 （1）宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。 （2）宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき。 イ、暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力 ロ、暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき ハ、法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの （3）宿泊客が泥酔等により他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす恐れのあるとき。他の宿泊客に著しく迷惑を及ぼす言動があるとき。 （4）宿泊客が特定感染症の患者等であるとき。 （5）宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき（宿泊客が障害者差別解消法第7条第2項又は第8条第2項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。）。 （6）宿泊客が、当ホテルに対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき。 （7）天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。 （8）客室での喫煙、消防用設備に対するいたずら。 2. その他当ホテルが定める利用規則に従わないとき。当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。
宿泊契約解除の説明	第7条の2	宿泊客は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約を解除した場合、その理由の説明を求めることができます。
宿泊の登録	第8条	1. 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。 （1）宿泊客の氏名、住所及び連絡先 （2）日本国内に住所を有しない外国人にあっては、国籍、旅券番号（確認の為、パスポートのコピーを取らせていただきます） （3）その他当ホテルが必要と認める事項 2. 宿泊客が第13条の料金の支払いを、旅券小切手、宿泊券、クレジットカード等、通貨に代わりえる方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。 3. お預かりした個人情報は、マンテンホテル株式会社の個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。
客室の使用時間	第9条	1. 宿泊客は、ホテルの客室を使用できる時間は、午後2時から翌朝午前10時までとします。ただし連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。 2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、チェックアウトタイムを超えて客室の使用に応じる場合があります。この場合においては、別途追加料金を申し受けま。チェックアウト後、客室ご利用の場合は、お1人様1時間につき、550円（税込）の追加料金を申し受けま。ただし、午後2時以降は、全額とします。
利用規則の遵守	第10条	宿泊客は、当ホテルにおいては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。
宿泊継続の拒絶	第11条	当ホテルは、お引き受けした期間といえども、次の場合、継続をお断りすることがあります。 （1）第5条第2号から第9号までに該当することとなったとき （2）宿泊客が前条の利用規則に従わなかったとき
営業時間	第12条	当ホテルの主な施設等の営業時間は、次のとおりとし、その他の施設等の詳しい営業時間は、備付けパンフレット、各所の掲示、客室内のサービスディレクトリー等でご案内いたします。 （1）フロント・キャッシャー等サービス時間：終日 （2）飲食等（施設）サービス時間：各直営飲食店営業時間によるものとします。 （3）附帯サービス施設時間：自動販売機 終日

■ 違約金（第6条 第2項関係）

契約解除の通知を うけた日		不泊	当泊	前日	9日前以降
一般	14名まで	100%	80%	20%	
団体	15名以上	100%	80%	20%	10%

注) 1. %は、基本宿泊料に対する違約金の比率です。
2. 契約日数が短縮された場合は、その短縮日数にかかわらず1日(初日)の違約金を収受します。

料金の支払い	第13条	1. 宿泊者が支払うべき宿泊料金等の内訳及びその算出方法は、別表に掲げるところによります。 2. 前項の宿泊料金の支払いは、日本の通貨又は当ホテルが認めたクレジットカード若しくはクーポン券により、宿泊客がチェックインの時に当ホテルのフロントにおいてお支払いいただきます。 3. 当ホテルが、宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。	■ 宿泊料金等の内訳(第2条第1項及び第3条第2項関係)
			注]税法が改正された場合は、その改正された規定によるものとします。
当ホテルの責任	第14条	1. 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により、宿泊者に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。 2. 当ホテルは、消防機関から適マークを受領しておりますが、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。	1.基本宿泊料金 2.飲食及びその他の利用料金 3.消費税
契約した客室の提供 ができないときの 取扱い	第15条	1. 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了承を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。 2. ホテルは、前項の規定にかかわらず、他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金総当の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は、損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。	
寄託物等の取扱い	第16条	1. 宿泊客がフロントにお預けになった物品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが不可抗力である場合を除き、当ホテルは15万円を限度として、その損害を賠償します。 2. 宿泊客が、当ホテル内にお持込みになった物品又は現金ならびに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、宿泊客があらかじめ種類及び価格の明告のなかったものについては、15万円を限度として、当ホテルはその損害を賠償します。	
宿泊客の手荷物又は 携帯品の保管	第17条	1. 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立ってホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了承したときに限って責任を持って保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。 2. 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合において、発見日を含め7日間保管し、その後最寄りの警察署へ届けます。 3. 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第1項の場合にあっては、前条第1項の規定に、前項の場合にあっては同条第2項の規定に準じるものとします。	
駐車場の責任	第18条	宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。	
宿泊客の責任	第19条	宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害をこうむったときは、当該宿泊者は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。	
管轄及び準拠法	第20条	本約款に関して生じる一切の紛争については、当ホテルの所有地を管轄する日本の裁判所において、日本の法令に従い解決されるものとします。	

マンテンホテル利用規則

ホテルの公共性と安全性を維持するため、当ホテルをご利用のお客様には宿泊約款第10条にもとづき下記の規則をお守りいただくことになっております。
この規則をお守りいただけないときには、宿泊約款第11条により宿泊のご継続をおことわりすることがあります。

記

- 廊下および客室内で暖房用、炊事用などの火器をご使用にならないこと。
- 館内指定の喫煙所以外で喫煙をなさらないこと。
- 高声放歌や喧騒な行動、その他で、他人に嫌悪感を与えたり迷惑を及ぼしたりするようなことのないこと。
- 廊下および客室内に次のようなものをお持ち込みにならないこと。
(イ) 動物、鳥類。(ロ) 著しく悪臭を発するもの。(ハ) 著しく多量な物品。(ニ) 非合法薬物またはそれに類するもの
(ホ) 火薬や揮発油など、発火或いは引火しやすいもの。(ヘ) 適法に所持を許可されていない鉄砲、刀剣類。
- 廊下および客室内で、とばくおよび風紀をみだすような行為をなさらないこと。
- 外来者を客室内に引き入れたり、客室内の諸設備、諸物品などを使用させたりなさらないこと。
- 客室やロビーを事務所、営業所がわりに使用なさらないこと。
- 廊下および客室内の諸設備、諸物品をその目的以外の用途に充てないこと。
- 客室内の諸物品をホテルの外へ持ち出したり、ホテル内の他の場所に移動したりなさらないこと。
- ホテルの建築物や諸設備に異物をとりつけたり、現状を変更するような行為をなさらないこと。
- ホテルの外観をそこなうような品物を窓にお掛けにならないこと。
- ホテル内で他のお客様に広告物を配布するような行為をなさらないこと。
- 廊下やロビーなどに靴やその他の所持品を放置なさらないこと。
- ホテル外から飲食物の出前をおとりにならないこと。
- ご宿泊日数を変更なさる場合は、前もってフロントデスクに予めご連絡下さること。
- ご宿泊日数を延長なさる場合は、それまでのお勘定をお支払下さること。

以下の条項については了解があったものと見なし、宿泊のお引き受けいたします。

- お忘れ物の保管は特にご指定のない限り、発見日を含めて7日間とし、その後は最寄の警察署に届けるものとすること。
- 宿泊料金のご請求では会社請求、売掛等の後日精算はお引き受けできないこと。
- 貴重品等の金品のお預かりは出来ないこと。

以上

TERMS AND CONDITIONS FOR ACCOMMODATION CONTRACTS

Scope of Application

Article 1.

1.Contracts for Accommodation and related agreements to be entered into between this Hotel and the Guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions. Any particulars not provided for herein shall be governed by laws and regulations and/or generally accepted practices.
2.In the case of the Hotel having entered into a special contract with the Guest in so far as such special contract does not violate laws and regulations and generally accepted practices, notwithstanding the preceding Paragraph, the special contract shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions.

Application for an Accommodation Contract

Article 2.

1.A Guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following particulars:

- (1)Name of the Guest(s)
- (2)Date of accommodation and estimated time of arrival
- (3)Accommodation charges
- (4)Other particulars deemed necessary by the Hotel

2.In the case of the Guest requesting, during his/her stay, extension of the accommodation beyond the date in subparagraph (2) of the preceding Paragraph, the request shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

Conclusion of an Accommodation Contract and Related Matters

Article 3.

1.A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the same shall not apply when it has been proved that the Hotel has not accepted the application.

2.When an Accommodation Contract has been concluded in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit fixed by the Hotel within the limits of the Basic Accommodation Charges covering the Guest's entire period of stay by the date specified by the Hotel.

3.The deposit shall be first used for the total accommodation charges to be paid by the Guest, and the remainder, if any, shall be refunded at the checkout.

4.If the Guest has failed to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 2 of Article 3, the Hotel shall treat the Accommodation Contract as invalid. However, the same shall apply only in the case of the Guest being thus informed by the Hotel when the period of payment of the deposit is specified.

Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit

Article 4.

Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may enter into a special contract requiring no accommodation deposit after the Contract has been concluded as stipulated in the same Paragraph.

Refusal of an Accommodation Contract

Article 5.

The Hotel may not accept the conclusion of an Accommodation Contract in any of the following cases:

- (1)When the application for accommodation does not conform with the provisions of these Terms and Conditions;
- (2)When the Hotel is fully booked and no room is available;
- (3)When the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct himself in a manner that will contravene the law or act against the public order or good morals in regard to his/her accommodation;
- (4)When the Guest seeking accommodation acts disruptively or dangerously, threatening or causing distress to other Guests due to drunkenness, etc.
- (5)When the Guest seeking accommodation is an organized crime group member prescribed by the Act on the Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Members (enforced on March 11, 1991) (hereinafter collectively referred to as an "Organized crime group member, etc.") or a part of or related to an organization associated with such group;
- (6)When the Guest seeking accommodation acts violently, makes threats, intimidates, makes violent demands, or makes any other coercive or unreasonable demand or action, or is deemed to have conducted such actions;
- (7)When the Guest seeking accommodation can be clearly identified as a carrier of an infectious disease;
- (8)When the Hotel is requested to assume an unreasonable burden with regard to the accommodation of the Guest;
- (9)When the Hotel is unable to provide accommodation due to a natural calamity, malfunction of the facilities and/or other unavoidable causes;

Right of the Guest to Cancel an Accommodation Contract

Article 6.

1.The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by notifying the Hotel.

2.In the case of the Guest having cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is liable (except in case when the Hotel has requested the payment of the deposit during the specified period as prescribed in Paragraph 2 of Article 3 and the Guest has cancelled before the payment), the Guest shall pay cancellation charge as listed in the attached Table 1. However, in the case of a special contract as prescribed in Article 4 having been concluded, the same shall apply only when the Guest has been informed of the obligation to pay the cancellation charges in the case of cancellation by the Guest.

3.In the case of the Guest not having arrived by 10:00 p.m. on the check-in date (or two hours after the expected time of arrival if the Hotel has been notified of such) without advance notice, the Hotel may regard the Accommodation Contract as having been cancelled by the Guest.

Right of the Hotel to Cancel Accommodation Contracts

Article 7.

1.The Hotel may cancel an Accommodation Contract in any of the following cases:

- (1)When the Guest is deemed liable to conduct and/or to have conducted himself in a manner that will contravene the law or act against the public order and good morals in regard to his/her accommodation;
- (2)When the Guest seeking accommodation acts disruptively or dangerously, threatening or causing distress to other Guests due to drunkenness, etc.
- (3)When the Guest seeking accommodation is an organized crime group member prescribed by the Act on the Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Members (enforced on March 11, 1991) (hereinafter collectively referred to as an "Organized crime group member, etc.") or a part of or related to an organization associated with such group;
- (4)When the Guest seeking accommodation acts violently, makes threats, intimidates, makes violent demands, or makes any other coercive or unreasonable demand or action, or is deemed to have conducted such actions;
- (5)When the Guest is clearly identified as a carrier of an infectious disease;
- (6)When the Hotel is requested to assume an unreasonable burden with regard to the Guest's accommodation;
- (7)When the Hotel is unable to provide accommodation due to a natural calamity and/or other causes of force majeure;
- (8)When the Guest carries out prohibited actions such as smoking in bed, mischief to the fire-fighting facilities or other actions prohibited by the Use Regulations stipulated by the Hotel;

2.In the case of the Hotel having cancelled the Accommodation Contract in accordance with the preceding Paragraph, the Hotel shall not be entitled to charge the Guest for any unreceived services in the future during the contractual period.

Registration

Article 8.

1.The Guest shall register the following particulars at the front desk of the Hotel at the time of check-in.

- (1)Name, age, sex, address and occupation of the Guest(s);
- (2)For non-Japanese Guest(s): nationality, passport number, port and date of entry into Japan; (For confirmation, the passport shall be copied.)
- (3)Date and estimated time of departure; and
- (4)Other particulars deemed necessary by the Hotel.

2.In the case of the Guest intending to pay the accommodation charges prescribed in Article 13 by any means other than Japanese currency, such as traveler's checks, coupons or a credit card, these credentials shall be shown in advance at the time of the registration prescribed in the preceding Paragraph.

3.The personal information given to the Hotel will be properly dealt with based on the Privacy Policy of the Hotel.

Guest Room Occupancy Hours Refusal of an Accommodation

Article 9.

1.The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Hotel from 2:00 p.m. to 10:00 a.m. on the next day. However, in the case of the Guest being accommodated continuously, the Guest may occupy the room all day long, on days other than the days of arrival and departure.

2.The Hotel may, notwithstanding the provisions prescribed in the preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the room beyond the time prescribed in the same Paragraph. In such a case, an extra charge shall be paid as follows:

Until 2:00pm: 550yen Tax included/hour/person
2:00pm ~: 100% of the room charge

Observance of the Rules for the Use of Accommodations Refusal of Continue Occupancy

Article 10.

The Guest shall observe the Rules for the Use of Accommodations established by the Hotel, which are posted in the premises of the Hotel.

Article 11.

In the following situations, the Hotel may refuse to provide continuous accommodation, even after having previously accepted to do so.

- (1)The Guest corresponds to Paragraph 2 to 9 of Article 5.
- (2)The Guest does not observe the Rules for the Use of Accommodations stipulated in Article 10.

■ Cancellation charge for the Hotel (Ref. Paragraph 2 of Article 6)

Number of Guests	No show	Accommodation day	One day prior to accommodation day	9 days prior to accommodation day
1 to 14	100%	80%	20%	
15 or more	100%	80%	20%	10%

Remarks:
1.The percentages signify the rate of cancellation charge to the Basic Accommodation Charges.
2. When the number of days contracted is lowered, the cancellation charge for the first day of the cancelled period shall be paid by the Guest regardless of the number of days by which the stay is shortened.

Business Hours	Article 12. The business hours of the main facilities, etc. of the Hotel are as follows, and those of other facilities shall be notified in detail through brochures provided, notices displayed in various places, service directories in guest rooms and other means. (1)Service hours of the front desk and cashier's desk: 24 hours a day (2)Restaurants: Hours differ depending on the restaurant (3)Vending machines: 24 hours a day	<div>■ Breakdown of the Accommodation charges (Ref. Paragraph 1 of Article 2 and Paragraph 2 of Article 3)</div> <table><tr><td rowspan="3">Total amount to be paid by the Guest</td><td>1. Basic accommodation charges (room charge)</td></tr><tr><td>2. Meal & drink charges, etc.</td></tr><tr><td>3. Consumer tax</td></tr></table>	Total amount to be paid by the Guest	1. Basic accommodation charges (room charge)	2. Meal & drink charges, etc.	3. Consumer tax
Total amount to be paid by the Guest	1. Basic accommodation charges (room charge)					
	2. Meal & drink charges, etc.					
	3. Consumer tax					
Payment of Accommodation Charges	Article 13. 1.The breakdown and method of calculation of accommodation charges, etc. that the Guest shall pay are as listed in the attached Table 2. 2.Accommodation charges as stated in the preceding Paragraph shall be paid in Japanese currency or by any means other than Japanese currency such as coupons or credit cards recognized by the Hotel at the front desk at the time of the arrival of the Guest. 3.Accommodation Charges shall be paid even if the Guest voluntarily does not utilize the accommodation facilities that are provided for him/her by the Hotel and that are at his/her disposal.					
Liabilities of the Hotel	Article 14. 1.The Hotel shall compensate the Guest for damage if the Hotel has caused such damage to the Guest in the fulfillment or the nonfulfillment of the Accommodation Contract and/or related agreements. However, the same shall not apply in the case of such damage having been caused due to reasons for which the Hotel is not liable. 2.Although the Hotel has been certified that it conforms with the fire prevention standards, the Hotel has innkeeper's liability insurance to provide against a fire.					
When the Hotel is Unable to Provide Contracted Rooms	Article 15. 1.When the Hotel cannot provide contracted rooms, we shall arrange for accommodations of the same standard elsewhere for the Guest in so far as practicable with the consent of the Guest. 2.Notwithstanding the preceding Paragraph, when the Hotel cannot arrange for accommodations of the same standard elsewhere for the Guest, the Hotel will pay the compensation as a penalty, which will be used for indemnity. However, when such damage has been caused due to reasons for which the Hotel is not liable, the Hotel shall not pay the compensation.					
Handling of Deposited Articles	Article 16. 1.The Hotel shall compensate the Guest for damage within the limits of 150,000 yen when loss, breakage or other damage is caused to the goods, cash or valuables deposited at the front desk by the Guest, except in the case of this having occurred due to causes of force majeure. 2.The Hotel shall compensate the Guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused, provided that it is determined to be the result of intention or negligence on the part of the Hotel, to the goods, cash or valuables which are brought into the premises of the Hotel by the Guest but are not deposited at the front desk. However, for goods for which the Guest has not made an advance declaration with respect to type and value, the liability of the Hotel for compensation shall be limited to 150,000yen.					
Custody of Baggage and/or Belongings of the Guest	Article 17. 1.When the baggage of the Guest is brought into the Hotel before the Guest's arrival, the Hotel shall be liable to keep it only in the case of such a request having been accepted by the Hotel. The baggage shall be handed over to the Guest at the front desk at the time of his/her check-in. 2.When the baggage or belongings of the Guest is found left after his/her check-out, the Hotel shall keep the article for seven days including the day it is found, and after this period, the Hotel shall turn it over to the nearest police station. 3.As for the liability of the Hotel for the baggage or belongings of the Guest mentioned in the preceding Paragraphs, Paragraph 1 of Article 16 is applied to the case of Paragraph 1 and Paragraph 2 of Article 16 is applied to the case of Paragraph 2 of this Article.					
Liability with regard to Parking	Article 18. The Hotel shall not be liable for the custody of the vehicle of the Guest when the Guest uses the parking lot within the premises of the Hotel, as the Hotel simply offers the space for parking, whether the key of the vehicle has been deposited at the Hotel or not. However, the Hotel shall compensate the Guest for damage caused through intention or negligence on the part of the Hotel with regard to the management of the parking lot.					
Liability of the Guest	Article 19. The Guest shall compensate the Hotel for damage caused through intention or negligence on the part of the Guest.					
Jurisdiction and Applicable Laws	Article 20. Any dispute arising from or in relation to these Provisions shall be referred to the Japanese court that has jurisdiction over the location of this Hotel and resolved in accordance with applicable Japanese laws.					

RULES FOR THE USE OF ACCOMMODATIONS

Hotel guests are kindly requested to observe the rules, outlined in Article 10 of the Accommodation Contract, so that their stay will be both comfortable and safe. If guests do not observe these rules, the Hotel will be obliged to cancel their accommodations and the related contract as specified in Article 11. are at his/her disposal.

1. Please do not use any personal appliances for heating or cooking in a guest room or public space.
2. Please refrain from smoking in bed or in parts of the Hotel which can easily catch fire.
3. Please refrain from shouting and loud singing in the Hotel and causing distress to other guests.
4. Please do not bring the following into the guest room or corridor:
 - (a) Animals, birds, etc.
 - (b) Malodorous articles
 - (c) Too large a number of personal effects
 - (d) Illegal drugs and/or similar articles
 - (e) Explosive, volatile or flammable materials
 - (f) Unlicensed firearms or swords
5. Please refrain from gambling or engaging in indecent or immoral behavior in the Hotel.
6. Please do not invite guests to your room and have them use the facilities and belongings of the Hotel.
7. Please refrain from using a hotel room or lobby as your office.
8. Please refrain from using Hotel facilities and belongings for purposes other than those intended.
9. Please do not bring the belongings of the Hotel outside of the Hotel or to other places in the Hotel.
10. Please refrain from putting any articles to the building or facilities of the Hotel.
11. Please refrain from hanging articles in the window, which damage the appearance of the Hotel.
12. Please do not distribute advertising bills in the public space of the Hotel.
13. Please do not leave your shoes or any personal belongings in the Hotel's public area.
14. Please refrain from requesting delivery service of food or drinks into the Hotel from outside.
15. If your accommodation schedule changes, please inform the front desk of the Hotel in advance.
16. When you increase the number of accommodation days, please pay the Hotel charge up to that point.

In the following cases, we will accept the accommodation with the understanding that we have obtained the approval of the Guest.

17. Lost articles will be kept for seven days including the day they are found, and after this period, the Hotel shall turn them over to the nearest police station.
18. We do not accept deferred payment for Hotel charges.
19. We cannot keep valuables.